

<p>公益財団法人 8020 推進財団</p> <p>平成 26 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録</p>
<p>1. 事業名：当院における包括的口腔ケアシステムを利用した老人介護施設への介入</p>
<p>2. 申請者名：トヨタ記念病院 歯科口腔外科 町田純一郎</p>
<p>3. 実施組織：トヨタ記念病院 歯科口腔外科 トヨタ記念病院 感染症科 豊田加茂歯科医師会</p>
<p>4. 事業の概要：</p> <p>当院では、平成 23 年度より歯科保健活動助成金を受けて、老人保健施設での活動を行うと共に、口腔ケアによる医学的評価について学会発表と論文発表を行ってきた。本年度は本事業3年目の総括であり、これまでの活動成果や臨床研究の結果をさまざまな形で発信し、社会に幅広く還元する活動を行った。まずトヨタ記念病院内の活動として、糖尿病科と合同で糖尿病患者さんを対象とした勉強会を計3回開催した。この中では、本事業の結果得られた、義歯清掃の重要性やカンジダについて解りやすく解説した。また2つの学会発表を通して、当科の活動内容や効果的な口腔管理の方法を報告した。さらに、これまでの事業を踏まえ、あらたに感染症科、消化器科、呼吸器科、糖尿病科、血液内科との共同臨床研究をスタートさせた。</p>
<p>5. 事業の内容</p> <p>当院では、平成 21 年より入院患者に対する口腔ケアを包括的に実施している。平成 23 年度より歯科保健活動助成金を受けて入院患者 842 名を対象とした口腔ケア実施による医学的評価と当院における口腔管理システムについて日本環境感染学会雑誌に投稿した(水谷文香 他:環境感染誌 28(4):223-239.2013)。</p> <p>今年度は本事業3年目の総括となる事を踏まえ、主に3つの事業を行った。1) 病院内で勉強会を開催し、本事業で解明された結果を患者や病院職員に幅広く還元すること。2) 本事業で解明された結果を国内外で学会発表すること。3) これまでの経過を踏まえ、臨床研究を継続すること。</p> <p>1) 院内勉強会の開催(錦織真希)</p> <p>当院健診センターにおいて糖尿病科と合同で、外来患者を対象にし、2014 年 5 月、9 月、11 月と合計 3 回にわたって保健指導を実施し、本事業の成果である、「義歯の洗浄の重要性」や、「口腔カンジダ症」に重点をおいた発表会を開催した。これまでの成果を患者や病院職員に対して幅広く還元できた。</p> <p>2) 本事業で解明された結果を国内外で学会発表すること。</p> <p>国内での学会発表(第15回クリニカルパス学会学術総会)と国際学会(93<sup>rd</sup> General Session and Exhibition of the International Association of Dental Research 第93回国際歯科医学会総会)での発表を行った。この中で、当院の包括的口腔ケアシステムを利用した老人介護施設への介入活動に加え、クリニカルパスに口腔ケアを効率よく組み入れる方法を提案し、高い評価を得た。</p> <p>3) 臨床研究の継続</p> <p>感染症科、消化器科、呼吸器科、糖尿病科、血液内科との口腔ケアの効果について臨床的な共同研究を開始した。</p>
<p>6. 実施後の評価(今後の課題)</p> <p>超高齢化が進む日本において、質の高い生活を維持するために8020運動は、「歯を残すだけの活動」から「口腔全体の機能を維持回復させるための活動」へと変化しつつある。本事業の総括として、これまでの活動実績や成果を第15回クリニカルパス学会で報告し<b>最優秀学会賞</b>を受賞した。このような医科が主体として行われている学会の中でわれわれが受賞できたことは、8020運動が社会的に認められている証であり、今後も積極的に活動をしていきたい。</p> <p>また、これまでの事業を踏まえ、あらたに感染症科、消化器科、呼吸器科、糖尿病科、血液内科との共同臨床研究をスタートさせた。具体的には、人工呼吸器装着患者に対して、唾液性状、口腔細菌数、細菌種等のデータの蓄積し、人工呼吸器関連肺炎(VAP)などで適切な口腔ケアを行う上での指標となることを目指している。今後は、疾患別に当科の口腔ケアシステムの効果を詳細に検討していく予定である。</p>